

Zeon Chemicals Singapore Pte. Ltd. (ZCS)

会社紹介

【事業内容】

合成ゴムの製造販売（主に低燃費タイヤ用）
・S-SBR（溶液重合法スチレンブタジエンゴム）
・末端変性ブタジエンゴム

2010 年設立。シンガポールのジュロン島で低燃費タイヤ向けの S-SBR を製造する工場として 2014 年 4 月に本格的な生産をスタートしました。2016 年 4 月には第 2 系列でも生産開始。アジアだけでなく、欧米も含めた世界全体に製品を出荷しています。

【拠点】

シンガポール ジュロン島

【人員数】

2017 年 3 月末人員数：105 名
2016 年度採用実績：25 名



Zeon Chemicals Singapore Pte. Ltd. (ZCS)

製品イメージ



S-SBR を使用した低燃費タイヤ

会社方針（トップメッセージ）

2016 年 3 月に第 2 生産ラインが完工し、ZCS の生産能力は 2 倍になりました。確実に進行しつつある地球の温暖化に対応する省燃費タイヤの生産に欠かせない高機能の合成ゴムを生産して社会へ供給する ZCS は、倍増した能力で、倍の社会貢献をしていきます。さらには、お客様の声に応える新たな製品が生産できるように、設備改造を進めています。2017 年 9 月には試作を開始できる予定です。運転員はマザー工場（日本ゼオン徳山工場）で新製品生産の教育実習を終え、準備万端整えて、改造工事の完了を待っています。



武上 博 社長

安全への取り組み

【方針】

休業災害ゼロ、重大保安異常ゼロを目標に、そのための実施項目を決めて取り組んでいます。

【具体的な取り組み】

1. 月例での安全パトロール
2. 従業員の計画的な資格取得
3. 定期的な安全ビデオ教育
4. 各部署ごとに決めた安全指標の定期チェック

環境負荷削減への取り組み

【方針】

HSE Policy[※]の一部として環境方針を制定

※HSE Policy

Health, Safety, Environment policy = 健康・安全・環境方針

【具体的な取り組み】

国土の狭いシンガポール特有の課題として、水資源問題があります。貴重な水を効率的に活用するため、当社では、生産数量あたりの工業用水使用量削減の取り組みを開始。2016 年度は前年比 20%の効率化を図ることができました。エネルギー使用量および CO₂ 排出量は、第 2 生産ラインの稼働により増加していますが、2017 年度よりエネルギー使用の効率化検討を開始しました。

環境関連データ

Zeon Chemicals Singapore Pte. Ltd. (ZCS)		2014 年度	2015 年度	2016 年度
産業廃棄物	減容前発生量 (トン)	0	0	0
	埋立処分量 (トン)	0	0	0
水資源 (工業用水+地下水+上水道) 使用量 (千 m ³)		312	402	417
CO ₂ 排出量 (トン)		39,180	43,533	56,400
エネルギー使用量 (原油換算、kL)		17,575	19,227	24,911

社員とともに

【方針】

人材を事業成功に導くための貴重な人的資源＝“人財”と捉え、採用、配置、育成、評価、処遇を的確に、かつ公正、公平に遂行することで、事業活動の基盤を確固たるものとする。

【具体的な取り組み】

性別、人種にこだわることなく広く門戸を開放し、現地採用を実施。主要ポスト職への現地採用人材の登用を始め、現地での管理・監督者の育成、活用を進めています。また、日本への研修派遣や、日本の工場からの指導員による教育も取り入れています。

地域との共生

【具体的な取り組み】

現地採用の従業員が 9 割以上を占めており、雇用を通じて地域コミュニティの発展に貢献しています。そして継続的に雇用機会を創出しています。

また、プラント運転の主要な役割を担う 3 割の従業員には、日本の工場でプラントの運転管理を学んでいただいております。技術移転に貢献しています。